

提携先	伏見蒲鉾(株)	記入日	2008/8/29
登録消費材名	焼きちくわ、板なしかまぼこ、お野菜揚、きんぴら天など		

．これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

作業マニュアル、チェック記録など生産管理の完備に努力。
 作業環境の整備（5S）の実施によるクレームの削減。
 すり身価格、重油・電気など製造コストの高騰への対応として、経費削減、無駄やミス
 の防止などの取り組み。
 新規消費材、原料高騰による消費材の規格変更等への取り組み実施。

．前年に努力したことへの評価(成果や課題)

焼きちくわでの卵、小麦のコンタミ防止のためのチェック表類を改善しています。
 工場では電気料削減のため、基準使用量を超えるとクーラーストップとか、電気契約で
 の削減など効果が出ていました。
 管理部門ではコピーの枚数削減など努力効果が出ていました。
 無駄削減、歩留まり向上などのため、工場自身での作業マニュアルを作成して作業見直
 しに取り組んでいました。
 おでんや蒲鉾での提案取り組みを行いました。採用には至っていません。それより原
 料高騰での対応に追われました。

．上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

2月1日埼玉熊谷ブロックのスティックかまぼこでの自主監査を受けました。ラインでの
 合成洗剤の使用、逆性石鹼の使用があり指摘されました。菌の管理上必要ということで
 返答したが、できるだけ環境整備等も進め、使用頻度を下げるなど努力していきます。
 原材料での国産使用について、昨今の中国問題もあり、国産資材への引き合いも多くな
 っています。価格の問題もありますが、この状況を追い風にして国産原料の使用を増やし
 ていきたいと思えます。
 資材の内容について、長年使用してその内容について最近確認していないものもありま
 す。今年もなかなか確認できませんでしたので、内容の確認に努めます。